

「市のABC検診でひっかかりまして、受診するよう指示されたのですが……。この結果はどのように考えたらよいのでしょうか？」

1 ピロリ菌が胃内にいるとどうなるの？

2018年度厚生労働省による悪性新生物の部位別死亡率を参照すると、男性では肺がんに次いで胃がんが2番目。その胃がんの一因になるのがヘリコバクター・ピロリ菌です。ピロリ菌はウレアーゼという酵素をだすことにより胃酸を中和しながら胃内に感染しています。ピロリ菌が作りだすさまざまな分解酵素は胃粘液層を破壊、粘膜による保護を失った胃の上皮細胞が炎症を起こし、胃粘膜障害を引き起こしてしまいます。結果、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃がんの原因となってしまうわけです。

検査のはなし vol.12

専門医が教える 職場や市町村による健康診断での
検査結果をみたとき 異常値の意味と改善法 …18

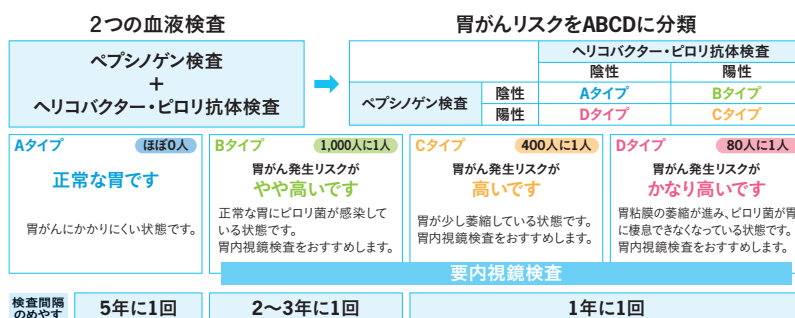
「ペプシノゲン ピロリ菌 ABC検診」



日本臨床検査専門医会
五十嵐 岳

2 ABC検診とは？

このような状態が継続すると胃粘膜は徐々に萎縮してくるのですが、それを血液で簡単に評価することができるのがペプシノゲン法です。ペプシノゲンは2種類あり、PG Iは胃底腺領域、PG IIは胃底腺領域の他、幽門腺、噴門腺、ブルネル腺からの分泌を反映します。胃粘膜萎縮が進行すると胃底腺も縮小してくるので、胃底腺を主としているPG I値は低下、PG I/II比も低下してきます。この低下をペプシノゲン法陽性とし、陽性は胃粘膜の萎縮進行＝ピロリが感染しているかもしれない環境であることを示しています。これに加え、ピロリ菌への抗体があるかを調べる血清ヘリコバクター・ピロリ抗体を検査することで、胃がんリスクの評価を行っているのがABC検診です。



3 内視鏡&ピロリ菌除菌をしましょう！

さて、ペプシノゲン、ピロリ抗体ともに陰性であるA群の方は正常な胃と思われますが、今後も発がんしないというわけではないので、定期的な検査を行いましょうね。では、それ以外のB～D群の方はどうしたらよいのでしょうか？ 答えは上部消化管内視鏡を受けること。内視鏡では、胃粘膜の状態、潰瘍やがんの確認を行うことができ、同時に胃の組織を少々いただくことによりピロリ菌感染の再確認も可能です。内視鏡でもピロリ感染が確認されたら、次にピロリ菌の除菌を行いましょう。除菌は胃薬＋2種類の抗生物質を朝夕1週間内服することで、約80%の方は除菌することができます。除菌薬内服中の注意点としては、抗生剤による下痢、稀に味覚障害が起こりえます。また、除菌薬内服中の煙草や飲酒は除菌率を下げてしまうので、控えるようにしてくださいね！

【参考文献】 井上和彦 胃がん対策のあるべき姿 日本がん検診・診断学会誌 26(2): 131-138, 2019.

●日本臨床検査専門医会：種々の検査を通して診断や治療に役立つ検査結果と関連する情報を臨床医に提供する臨床検査医の職能団体です。